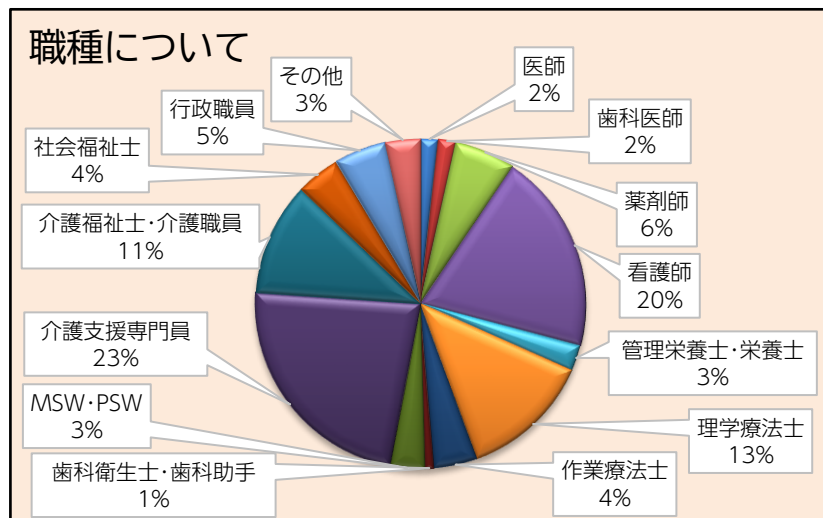


第2回いなべ在宅医療介護連携研究会(令和2年1月17日) 参加者アンケートまとめ

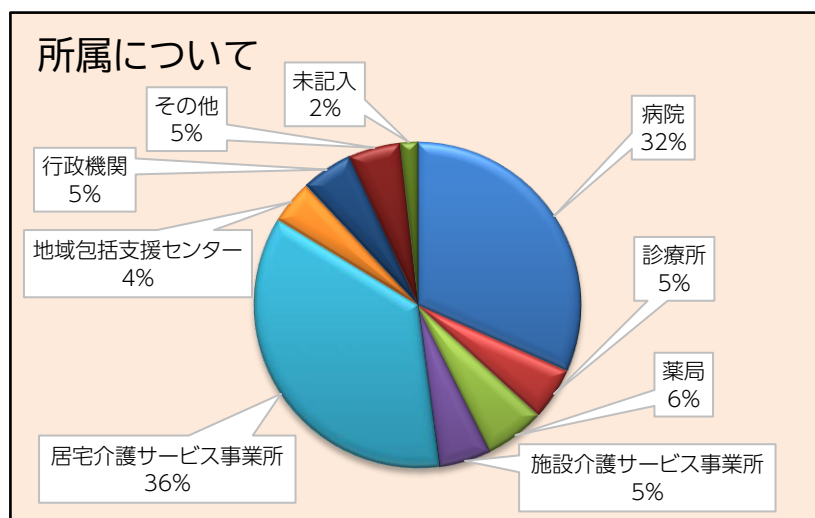
問1 職種について

医師	2
歯科医師	2
薬剤師	7
看護師	23
管理栄養士・栄養士	3
理学療法士	15
作業療法士	5
歯科衛生士・歯科助手	1
MSW・PSW	4
介護支援専門員	27
介護福祉士・介護職員	13
社会福祉士	5
行政職員	6
その他	4



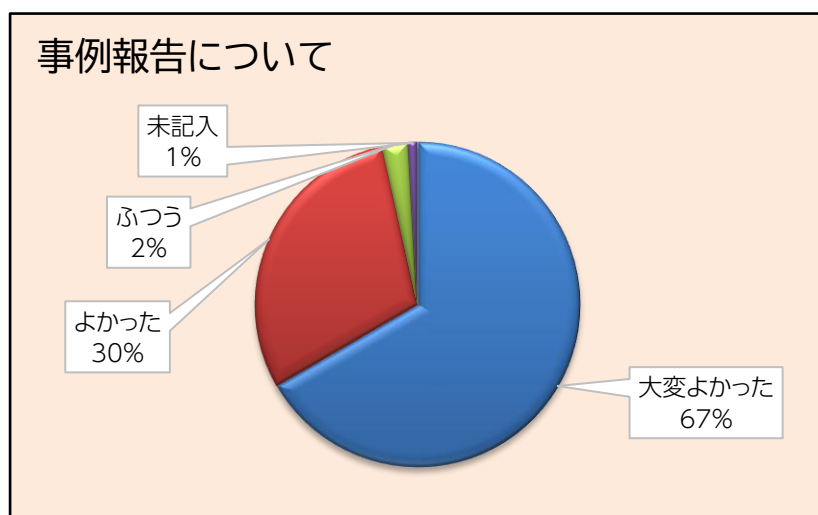
問2 所属について

病院	37
診療所	6
薬局	7
施設介護サービス事業所	6
居宅介護サービス事業所	42
地域包括支援センター	5
行政機関	6
その他	6
未記入	2



問3 事例報告について

大変よかった	78
よかった	35
ふつう	3
未記入	1



活用イメージがより持てました。
ICT を利用した事例は大変わかりやすかったです。今後、利用が進むと良いと思います。マイナールールづくりが必要！？
医療以外の情報(日常の様子)も共有できて多職種との目標が共有できた。
どのように活用を行ったらよいのか理解しやすかったです。
情報を共有できること、情報をもとに最善策を検討できること、見たいタイミングで見られること。
症例を通して、多職種の方が ICT を利用して素晴らしい看取りをされたことは良かった。
わかりやすかった。連携を取り合ったメンバーが1名ではなく、関わった職種からの発表だったのでそれぞれの立場からの考えや想いが知れてよかった。
ICT が活用できることで他の方々との連携をとれることが良いと思うし、同じように進んでいけることが良いと思った。
どのようなやりとりがあるのかを具体的にわかったのでイメージが取れました。
スピード感、正確性、情報や思い、喜びを共有できたところ。
ICT を利用することでより利用者に合ったサービス支援につながっていると感じた。
いなべ市でも MCS を導入するにあたって、具体的な利用について知ることができて参考になった。
ICT を活用した事例を実際に聞くことができ、イメージしやすかった。
ICT がどんなのかがわからなかったが、すごく良いシステムだと思った。
わかりやすい内容で利用者さんのためにスピード対応できると感じた。
このように活用して良かった、こうできたら良かった等、話が聞けてより使用するイメージができたと思う。
ICT の活用方法が大変わかりやすかったです。
充実した情報共有が可能になることで、利用者の生活の質の向上につながっていくと感じた。
タイムリーな情報がわかる良い事例でした。
様子がよくわかりました。
具体的な内容がよくわかりました。
多職種の密な連携が図れていると感じた。
使い方のイメージや利点が良く分かりました。
利用した時の利点がわかりやすかった。
具体的なやり取りが多く紹介されて活用のイメージがつかめた。
思っていた通りの意見を聞いた気がした。
やり取りのことは見せていただき、よくわかりました。
情報共有の仕方は効果的なものを感じられた。
ICT をどのように活用したらよいのか具体的な事例を報告してくださったので、とてもわかりやすかった。
他者の意見が聞けたので良かった。
元々よくわからなかったが、話を聞くことで具体的にイメージできた。
やはり上手く利用すると有効的なツールであることを再確認できた。
具体的な内容が聞け、活用の参考になりました。スピーディな情報共有ができることがよくわかりました。
実際の ICT のやり取りがよくわかり、今後のケア、支援するうえで活かしたい。
ICT をあまり理解できていなかったですが、今日の事例報告で理解できてよかったです。
実際に実用されている看護師さんのお話が聞けた。
ICT でのやり取りをすることで、ICT を活用しない従来通りの連携の仕方よりもより深い情報共有・連携が図られるということがわかり良かった。

掲示板の内容を見ることで、とてもリアルに他職種での支援内容が理解できとても参考になりました。
他職種連携について知ることが出来た。わかりやすく入りやすい内容であった。
医学的なやり取りだけでなく、本人の意思や感情まで共有できたこと。
院内での仕事なので全く知らなかったのも、とても良かったです。
具体的で非常にわかりやすかったです。
ICT の具体的な使用例の提示があり、今後の導入に向けてのイメージがついた。
実例を示され、患者様にとって質の高い介護医療チーム一丸で行われていてとても良いなと感じました。
連携することにより、利用者本人の生活の質が上がり、良かったと思います。
どんぐり平山医師の説明が分かりやすかった。在宅看取りの良さがよくわかり感動しました。訪問看護、ヘルパー、医師がうまく活用されていて、うちはモバカルは全く活用されておらず反省、持ち帰って課題としていきたいと思います。
多職が協働して看取りを行っている現場を知ることができた。
利用者さんの、主婦として楽しみを続けるケアを行え(気付け)たことはすごいなと思いました。
末期の利用者さんに対して ICT を使用することで最期までその人らしく生きることができており、参考になった。
電話よりも時間差がなく、連携が取れるように感じた。
薬剤師の先生の発表が正直な思いを述べていて心に残った。
まだ実施していないため、どのようなものかと不安面も多かったのですが、報告を聞かせていただき、連携がスムーズに行えることに安心感が持てました。
実際の活用した内容での報告だったのでとても参考になった。
多職種との連携ができやすい。
ICT というものの実体がまだよくわかっていなかったのですが、実際の使用例を知りイメージができた。
具体的な内容を説明されていたため、ICT のイメージが付きやすかったと思います。
具体的な事例での説明であり、ICT がどのようなものかわかりやすかった。
実際の活用例を知ること、利用する際のイメージがつかめた。ICT 導入の有効性を感じられた。
具体的事例があり良くわかりました。
モバカルリンクを使用していて、ヘルパーとしては大変助かった。
成功例として良かった。ただし、うまくいかなかった例も聞きたかった。
わかりやすく良かったです。ICT が活用できればいいなと思いました。
メリット・デメリットを把握できた。参考になった。
医師が利用者の生活の質まで考えてくださっていることに感銘を受けました。いなべ市でこれからも訪問診療をよろしくお願いいたします。
ICT 活用することにより、利用者さんの状況が速く正確にわかり、また多職種がうまく連携できた事例報告でした。利用者さんの思いがうまく実現できた事例で素晴らしかったです。
やり取りの内容がよく分かった
その方の性格、最新の情報共有が可能。
生活面、医療面からの必要なポイント、視点も様々である。それらを共有することで、その人の必要な支援、目指すべき方向が新たに見えると感じた。
具体的な活用を聞いて使ってみたいと思えた。他職種が欲しい情報を聞いて良かった。

問4 ICTの活用について

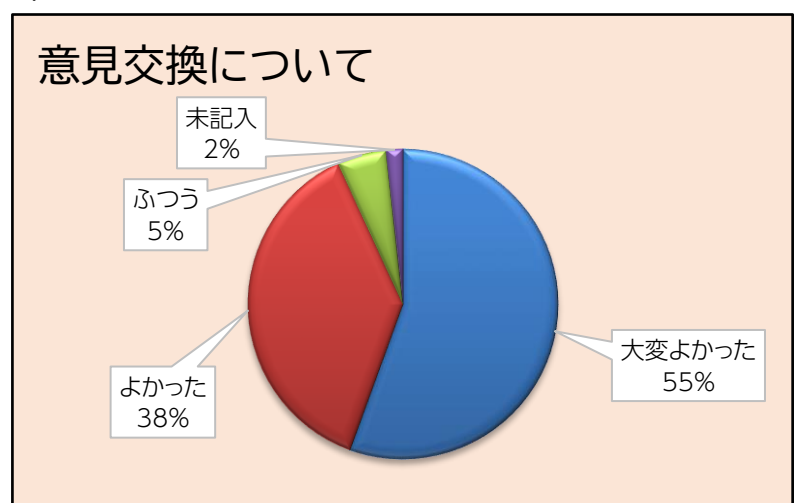
各患者のグループでは、あくまでも報告のみにとどめる。意見交換、議論は活発になりすぎると、かえって連携がしにくくなりそう。使いやすいルールづくりが大切と思いました。
便利だと思うが、上手に活用できるか不安がある→文書を書くのが下手なので伝わるか自信がない。
自分に責任をもって利用することが必要と思います。個人間のやり取りではないことを頭に置くことが重要と考えます。
PC やスマホに慣れていない方が困る？
活用に関して難しいと感じる方が多い印象があります。
情報共有のツールとして活用していきたい。
情報共有の内容も今まで以上に細かな情報の共有ができることが期待されるのではと思いました。在宅部門だけではなく、病院も関わるといいなと思いました。
文字化する事で、思いや情報を整理した報告となるのが良い。
デイサービスの利用者に活用できるのか？と思っていたが外部の他職種の関わりはあり、活用できると感じた。今まで紙面、ノートを使用していたものが ICT になるんだと思うと身近に感じた。
患者様のプライバシーは守られるのか。
どのような人が対象となるのか？という点では「医療処置の必要な人」とのイメージが強いので、それ以外での活用事例があれば知りたいと感じました。
いろいろと考えさせられました。
電話での連携よりもタイムリーに連携できると感じた。
便利なツールで使ってみたいと思いました。セキュリティの面で不安な面が少しあります。
多くの職種が関わることで、正確に伝えたいことが伝えられるか不安。
話にも出たが慢性期などの ICT 活用はどうかということでした。
まずやってみて！！が大切←IT は苦手であるが。
患者さんの様子がよく分かって助かります。MCS にまず入ろうかと考えます。
病院に所属していると電子カルテが当たり前となっているため、情報共有についてあまり困難と感じることはありませんでした。ICT の活用によって、情報共有が円滑になることを感じました。
他職種の様々な意見があるため、活用を進めていくことは時間がかかるのではないかと思った。
やはりメリット・デメリットのイメージが強くみられ、きちっとしたルール決めが市や町で作ったほうがいいのかと思いました。
医師の都合を考えずに、連絡や意見が聞けるのはありがたいと思う。
「使ってみないとわからない」ですね。まず、とにかく使ってみないとわからない。
実際に使用してみないとわかりませんが、多職種間の共有ができ患者様の QOL が上がるといいなと思います。
もう少しリアルタイムに電話ではなく、動画 (face time のようなもの) を見てもらいながら情報共有ができるようになると良い。
情報共有がしやすく、画像の添付は様子がわかってよい。
活用すれば便利だと思う。ただ、パソコンとの連携がどうなるのか、事務仕事が増えることが予想される。誰がグループを作るのか？
メリット・デメリットはあるが、積極的に使っていきたい。
初回利用の導入が少しハードルが高いかと思った。手続きが細かいと思った。
まずは使うことが大切と思います。
対象患者さんが主になるとは思いますが、家族との関係を捉えるのにも活用できると良いと感じました。

一般的になるには、時間が必要であるかなと思った。
多職種間での情報共有が、患者さんに同じことを何回も聞きたりということを避けられたりしてとても良いと感じました。
休みの時など早期な対応ができない場合は電話連絡になるのか、実際に使っていないので、今後確認していきます。
いざ、活用するとなるとちゃんと活用できるかど不安に思うこともあります。
記録が残るのがとても良い。共有～広がりへの期待！
その場で持ち込むことが出来るようなシステムになれば。連携ノートのような形で行えたらと思った。
顔の見える関係づくりの上に ICT は成立するのだと思いました。
にぎわいネットが有効活用できることを期待する。
平山先生が最後におっしゃったとおり、とにかくまず使ってみようと前向きな気持ちでいます。
在宅患者さんにとって ICT を利用し心強いと感じました。
個人情報にかかわることであるので、しっかり同意を得る。必要であると思います。
多職種が連携、情報がタイムリーに共有できるので大変有益だと感じました。
ご利用者様の現在の様子がわかるため状態に応じて福祉用具の提案ができる。
行えることは多そうであるが、全てを行うとするととても大変そう。平山先生がおっしゃってみえたようにあくまで”報告”という認識を忘れないことが大切そうである。
共通認識を持ちやすいと思うと同時に業務負担にならないか心配。
活用しなければわからないので、登録してみようと思います。
他市で使うようになったが、開店休業状況です。
運用開始後の評価が大切だと思います。
連携が密に取れるようになるかとは思いますが、PC 操作が苦手な方にとってはハードルが高い部分もあると感じました。
必要性の高いツールだと感じました。
統一したケアを行うため、しっかり活用していきたいと思います。うちのスタッフはパソコンも触るのに拒否反応がある方もみえて、施設全体でスムーズにできるとは思えないですが、グループワークでは簡単だから誰でもできるという話になり、温度差を感じました。これも持ち帰って課題として前向きに活用できるようにしていきたいと思います。
個人情報の管理方法に難しさを感じた。ただ、活用ができればメリットは非常に大きく感じる。
情報が写真・動画などで分かりやすく、スピーディに得られる。他職種が関わることが出来るんだなと感じた。病棟で働いているので介護さんから気軽に得られる情報「陰部が赤くなっています」「食べるのに時間がかかる」などは、在宅医療ではタイムロスがあるものなのだなと感じました。
個人情報管理について。デイサービスやデイケアとの連携。
ケアの質や業務の効率化につながりそうで楽しみです。
導入する際にコストや操作・使用方法の理解が問題になるように感じた。
不安なこともありますが、まずは関わるのが大事だと感じました。
他職種の連携が TEL よりもスムーズにより確実に行えると感じた。今後、課題となることも多数あると思うが、まずは使ってみて1つずつ改善していくことで、より利用者さんの生活が豊かになると思う。
活用することで、より患者様について詳しく知ることができると思いますし、自分の空いた時間に意見交換ができることで、みんなが予定を合わせる時間が省けると思います。
PC 環境や課題はあるが、必要なケースにはとても効果的と感じた。
ICT を利用することのメリットを知ることができた。しかし、施設内での記録に加え、記録物が増えるという

たデメリットがあることも感じられた。
ハード、ソフトに対する金額(コスト)を計算してほしい。また、いなべ市・東員町のバックアップ等はあるのか教えてほしい。ネット上でも OK です。
連携が ICT を使って行うことによって、スピード感をもって行える利用者様にとってはハッピーなことだと思う。
利用者の情報を多職で把握できることはいいことです。
これから必ず必要となってくると思いました。
個人事業所で働いています。技術的にはスマホでも可能とのことでしたが、セキュリティが心配です。また支援のいるお子さんにも活用できると良いなと感じました(保育園、小学校と医療や児童デイ等の連携)。
ICT を使いこなせるか不安もありますが、とてもよいシステムだと思います。
利点、欠点があるにしろ、まずはやり始めることが大切ではないかと思います。医療、介護の質は向上すると思います。
動画も送れるとのことで、介助方法など同じものが活用できる。
医師がどこまで介入してくれるのか、他事業所の情報をどこまで OPEN にしてくれるか・・・？
事業所での対応がまだ決まっていない。活用したいと思うが、ハード面での検討が必要。
リハ職は動画が使えるとありがたい。
導入をみんなが出来れば、情報共有できて良いと思う。
PC の活用に労力があるので仲間に教えてもらう。
ケースに関係者全員でつながることができるツールなのでいなべ市に根付くことを期待しています。無料ということにも魅力を感じます。
ICT 活用に関しては、プラス面がたくさんある事は事例からはよくわかりましたが、活用するにあたって事業所内でのルールが必要で事務量も増えることも予測され大変であると感じました。
年齢差があることで(使用者の)活用に対し不安の声が多いと感じました。使う側のモラルについては特に SNS の悪いイメージが強いようです。もう少し安全面の説明があると良いかと思いました。
良い面、悪い面がありそうです。
報告システムとして活用できると訪問職としてはありがたい。
メリットもあることはよくわかるが、やはり課題の方が多く挙がっていました。確かにその通りだと思います。
伝え忘れを防げる。様々なサービスを利用した場合、利用者への声かけ、働きかけも前向きに取り組めると思う。
使い慣れれば仕事が楽になる面も多い。

問5 意見交換会(多職種でのグループワーク)について

大変よかった	65
よかった	44
ふつう	6
未記入	2



すでに活用している方からの話が聞けたので良かった。
前向きな意見が多かったですが、記録が増えるといった意見もありました。ICT 利用をするための目的の方向性を同じ方向に皆が向いていることが促進につながるのかも感じました。
多職種の意見が聞け、とてもよかった。
多職種、各事業所の意見が聞けてとても勉強になりました。
職種によって知りたい情報や共有したいことが異なり共有することの大切さを改めて感じた。
他の方々の意見を聞けて、いろいろなことを知ることが出来た。
他の職種や施設での対応への思いを知ることが出来てよかった。
他の方々とお話しできたこと。
各職種間で連携に関する課題を話し合うことで連携の重要性を再認識できた。
他職やそれぞれの職場環境の違いによつての意見がとても参考になった。
いろんな立場の意見を聞くことができた。多職種のいろいろな話が聞けて良かった。
わからないことを知っている方がわかりやすく説明してくれたり、いい点ばかりでなく、リスクについても意見が出て意見交換会ができた。
多くの方が思う不安をグループで話せたのは良かった。
さりげなく進行してくださる方がいて、たくさんの意見が出ました。
様々な職種の意見を聞くことができた。各職種の方の意見を聞かせていただけて良かったです。
現在、連携(利用)している事業所の話を聞くことができ、今後病院にも導入していけると良いと感じました。
利点だけでなく具体的な使用方法や不安点も話し合うことができました。
活発な意見交換ができた。使ってみようという雰囲気で盛り上がった。
思っていた通りの意見だった。使っていないので不明な点が多い、不安が多い。
皆さんが感じている不安なことや連携の利点が聞けて良かったです。
いろんな職種の方のご意見がとても参考になり、今後につなげていけるかなと思いました。
活用していないので、イメージが難しかった。
自分の考えている利用法以外の新しい発見があった。
医療職ではない方の意見をたくさん聞けて、介護の現場についての意見も聞けてとても勉強になりました。
退院支援に関わることなのでそれに知識を深めたいと感じました。また参加したいです。
他職種の意見が聞け、良かった。暖房の音も大きく声が聞こえにくいところがありました。
みなさんの意見が聞けて良かった。
他の職種の方たちと意見交換はいつも勉強になります。
いろいろな活用の仕方を考えながら話すことができた。
事例がわかりやすかった。
所属や職種によって不安に思っている点が違うことに気付いて良かった。
本人を巻き込めると一番よいのではないかと思います(できれば)。家族も高齢だと難しいとは思いました。
普段関わることの少ない職種の方ともお話しすることができた。
いい意見が出たが話していない人もいた。
みなさん前向きで意見をたくさん出されいろんな職種の考えもわかりました。
多職種の意見交換だったため、介護職以外の意見もたくさん聞けてすごく勉強になりました。
多数の意見を様々な業種から聞くことができ、実際に使われている事業所での使用感も聞けたので参考になった。
他の職種の方の考えや環境をうかがうことが出来てよかった。

他施設、他職種の方の話が聞けて良かったです。
基本的な仕組み、コストの必要性など理解している方が見えたので、話を聞きながら少しわかった気がします。
同じ悩みを感じていることを知ることができた。
他職種の意見を聞くことができ、事業所によって ICT のとらえ方が違うことを学ぶことができた。
他職種の ICT に対する考えを聞いたことで ICT の活用の仕方が幅広くなると思います。
便利である反面、導入する際にはコストや操作方法の理解が必要に感じた。導入している所としていない所で壁ができるように感じた。
各職種の ICT への思いが確認できました。
他職種の方の意見や経験のある方の意見が聞けて良かったと思いました。
多職種との意見交換だったため、様々な視点からの意見を聞くことができた。
様々な職種の方から、ICT への期待や心配が聞くことが出来た。活用している事業所もあり、興味深かった。
多職種の意見が聞けて良かったです。多職種の方の考え方などがわかりました。
可能性と課題が深められました。
活発な意見が出されていた。
初めて会う方が本人の立場で話をしてもらえた。知れた。
各職種の ICT 活用方法を知れた。
よく理解してないので、取り組みにあまり進まなかったが必要になってくることが分かった。
各事業所の ICT 活用に対する考え方がわかり良かったです。
職種によって活用する捉え方が違うのだとわかった。
自分の思っていた ICT の話とは違う意見を聞けました。
入院前の情報をちょっとしたことでも知りたい。もっと共有したいという生の声を聞くことができ良かった。
普段関わっていながら本当はこういうタイミングで情報をもらえたら、こういう情報をもらえたらありがたいという、今まで聞けなかった意見を聞いた。

問6 本研究会へのご意見・ご要望等

いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。
会への参加楽しみにしています。
多職種で話ができる場面をまた持ってください。
利用者からケアマネの態度に対して不満を時折聞くので、接遇、声掛けの仕方について研修をしていただけると良いかと思います。
モバカルネットを活用してみたいと思った。
暮らしの保健室の紹介の時間を作っていただけると有難いです。
訪問リハビリ、特に作業療法の必要性を多くの方に知ってほしい。反対にたくさんの職種の仕事内容を知り役割分担に役立てたい。
いつも興味深い内容を検討いただきありがとうございます。
それぞれの業種、立場での思いを話せる大切な機会だと感じた。